



平成 29 年 5 月 12 日

各 位

株式会社 エスケーアイ
 代表取締役社長 肥 田 貴 将
 (JASDAQ:コード番号 9446)
 問合せ先 常務取締役管理本部長
 兼経理部長 田川正彦
 電話番号052(262)4499

平成 29 年 9 月期通期 (連結・個別) の業績予想の修正に関するお知らせ

平成 29 年 9 月期 (平成 28 年 10 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日) の業績予想について、平成 28 年 11 月 10 日付当社「平成 28 年 9 月期決算短信」にて公表いたしました業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 9 月期 連結業績予想の修正等

(1) 通期 (平成 28 年 10 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり四半期 純利益
前回予想 (A)	18,308	862	751	340	31.32円
今回修正 (B)	18,325	865	835	485	45.61円
増減額 (B-A)	17	3	84	145	—
増減率	0.1%	0.3%	11.2%	42.6%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 9 月期)	17,992	763	654	315	29.02円

(2) 修正理由

通期につきましては、平成 28 年 11 月 10 日付で、売上高 183 億 8 百万円、営業利益 8 億 62 百万円、経常利益 7 億 51 百万円、親会社株主に帰属する当期純利益 3 億 40 百万円の業績予想を公表いたしました。当社で第 2 四半期連結会計期間までに為替差益および特殊要因 (平成 28 年 12 月 28 日付「特別利益及び特別損失の発生に関するお知らせ」で公表) が発生しており、移動体通信機器販売関連事業については、通信事業者の営業施策による変動要素はあるものの、第 3 四半期以降も売上高および各利益が計画に沿って推移する見通しで、再生可能エネルギー事業も順調に推移しているため、当第 2 四半期連結会計期間で計画を上回った各利益については、通期でも当初計画を上回る

見通しとなりました。

また、子会社であるエスケイアイマネジメント株式会社につきましては、積極的な営業施策が奏功し、当第2四半期連結会計期間では、売上高・各利益とも過去最高金額で推移しており、通期でも順調な推移が予測される他、他の子会社とも当初計画通り進捗する見通しです。

したがいまして、通期につきましては、売上高 183 億 25 百万円（前回予想比 17 百万円増）、営業利益 8 億 65 百万円（前回予想比 3 百万円増）、経常利益 8 億 35 百万円（前回予想比 84 百万円増）、親会社株主に帰属する当期純利益 4 億 85 百万円（前回予想比 1 億 45 百万円増）となる見込みであります。

2. 平成 29 年 9 月期 個別業績予想の修正等

(1) 通期（平成 28 年 10 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり四半期純利益
前回予想 (A)	1 6, 2 0 0	4 3 0	2 1 7	1 9. 9 9 円
今回修正 (B)	1 6, 2 0 0	5 0 0	3 1 7	2 9. 8 1 円
増減額 (B-A)	0	7 0	1 0 0	—
増減率	0 %	1 6. 3 %	4 6. 1 %	—
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 9 月期)	1 5, 7 2 6	4 8 9	2 6 0	1 8. 8 8 円

(2) 修正理由

当期につきましては、平成 28 年 11 月 10 日付で売上高 162 億円、経常利益 4 億 30 百万円、当期純利益 2 億 17 百万円の業績予想を公表いたしましたが、通信機器販売関連事業は通信事業者の積極的な営業施策により当初計画通り推移しており、第 3 四半期以降通信事業者の営業施策による変動要素が内在しているものの、売上高及び各利益は計画に沿って推移するものと予測しております。

また、再生可能エネルギー事業でも既存の 5 発電所における売電が順調であり、当初計画通り推移しているため、第 2 四半期連結会計期間において当初計画を上回った各利益につきましては、通期でも当初計画を上回るものと予測しております。

したがいまして、通期につきましては、売上高 162 億円（前回予想比増減なし）、経常利益 5 億円（前回予想比 70 百万円増）、当期純利益 3 億 17 百万円（前回予想比 1 億円増）となる見込みであります。

以上